自衛官募集

現在、次のとおり自衛官を募集しています。自衛官を目指す人や自衛官について少しでも興味を持っている人は、気軽に資料請求などお問い合わせください。

○申し込み・問い合わせ　自衛隊熊本地方連絡部　菊池分駐所　☎0968（24）2772

募集種目			受付期間	試験日	受験資格
航空学生 海・空（男・女）			8月1日（月） ～9月9日（金）	1次：9月23日（金） 2次：10月15日（土）～20日（木） 3次：11月12日（土）～12月15日（木）	高卒（見込含） 21歳未満の人
一般曹候補生 陸・海・空（男・女）			8月1日（月） ～9月9日（金）	1次：9月17日（土）午前 2次：10月6日（木）～13日（木）	18歳以上 27歳未満の人
自衛官候補生	平成24年3・4月採用 陸・海・空	男子	8月1日（月） ～9月6日（火）	筆記試験 9月17日（土）午後 口述試験・身体検査 9月20日（火）～25日（日）	18歳以上 27歳未満の人
		女子	8月1日（月） ～9月9日（金）	9月25日（日）～28日（水） ※いずれか1日を指定	
防衛大学校学生（推薦）			9月5日（月） ～9月8日（木）	9月24日（土）・25日（日）	高卒（見込含） 21歳未満の人 （学校長の推薦必要）
防衛大学校学生（一般）			9月5日（月） ～9月30日（金）	1次：11月5日（土）・6日（日） 2次：12月13日（火）～17日（土）	高卒（見込含） 21歳未満の人
防衛医科大学校学生			9月5日（月） ～9月30日（金）	1次：10月29日（土）・30日（日） 2次：12月7日（水）～9日（金）	高卒（見込含） 21歳未満の人
陸上自衛官（看護）			9月5日（月） ～9月30日（金）	11月19日（土）	看護師免許を有し、保健師・助産師免許を有する人（見込含） 36歳未満の人
看護学生			9月5日（月） ～9月30日（金）	1次：10月22日（土） 2次：11月19日（土）・20日（日）	高卒（見込含） 24歳未満の人

自衛隊は、郷土愛が強くなる仕事。

菊池地域自衛官募集相談員
会長
鈴木信次（すずきしんじ）さん（真木）

昔から子どもたちが大人になったらなりたい職業は、警察官や消防士でした。最近は、その中に自衛官になりたいという人も多くなっているんです。

それは、新聞やテレビなどで自衛隊が取り上げられ、やっと自衛隊の活動が認知されてきたからではないかと思っています。被災地支援などで活動する姿が格好良く見えるからでしょうね。

私は自衛官OBですが、いろんなところにも行って、国のために奉仕する喜びはとても大きいものです。危険なところもありますが、国民から本当に喜ばれる仕事です。今は募集相談員をやっていますが、電話での相談や直接聞きに来る人もいます。

基本的なことを徹底的に教えていますので、気になることや興味があったら、とにかく相談してほしいですね。顔を見かけたときに声を掛けてもらっても構いませんよ。

自衛官になり、全国各地に赴任して多くの地域で仕事をしてきましたが、故郷を離れれば離れるほど、故郷の良さが見えてきました。赴任先の「地域に溶け込む」喜びを味わい、「郷土愛」が育まれていきました。退官後、町のために何かしたいと思う気持ちはそこから生まれていったと思います。

きっかけはどんなことでも構いません。やることには、全て意義がありますからね。

自分を衛（まも）るは　人を守る。

社団法人 全国自衛隊父兄会
大津町支部　支部長
武田征伍（たけだせいご）さん（引水）

自衛官として誇りと自信を持って、働いてもらうことを支えていくのが私たち父兄会の仕事です。入隊激励会の開催や支部の研修、会員の交流などを行っています。この会が子どもをそっとサポートしていく保護者のための父兄会として機能すれば良いと思っています。

親は、子どもが悩んでいるときやつらい時に「力になってあげたい」と思います。自衛官の保護者同士のつながりがあれば、子どものつらい時に力になることができると思います。

皆さんも高校や大学を卒業した後に、自分のやりたいことが分からない子どもの背中をそっと押してあげてみませんか。私たちは、その子どもを支えるためのサポートをお手伝いしています。

自分を衛（まも）るは　人を守る。

守ることとは―

東日本大震災から4カ月たった現在。4カ月もたったと思うのか、4カ月しかたっていないと思うのかは、人それぞれだろう。とにかく、今でも被災地の人たちは前を向いて頑張っている。支援する側が逆に勇気付けられるほどだ。それは山本さんの話からも分かる。

そして自衛隊員も頑張っている。今回の取材で、その原動力の秘密を少しだけ見せてもらったような気がする。お互いを信頼し合い、人を信じて行動するのは、寝食を共にし、多くの困難な状況を乗り越えてきたからだろう。大野中隊長が話した「愛」と「ぎずな」。技術より、体力より、それを大切にしなければならないということを隊員全てが理解している。隊員の意識の高さには、頭が下がる思いだ。

冒頭で紹介したツイートが出てくるのもその意識の高さからだろう。「自衛隊なめんなよ」―。その仕事に誇りと自信を持っていることを感じさせる。

震災後、日本の人々は一つになろうとしている。ボランティア活動は活発になり、多くのチャリティーイベントが行われている。それはつながりを求めて、「人は一人じゃない」と伝えたいがためのように。

取材で聞いた「勇気」「成長」「愛」「力になりたい」「郷土愛」のキーワード。自分を衛ることで培われていったこの言葉たちは、全てつながりを生み出す。つながりは、人を守ることになり、日本を、故郷を幸せに導くだろう。

特集
自分を衛るは、人を守る。　完